

令和4年度第4回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和4年10月11日（火曜日） 午後6時30分～午後8時10分

開催場所 立川市女性総合センター（AIM）5階第2学習室

出席者 [委員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槇 正則 委員
柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員
難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員 岡部 君夫 委員
岩元 喜代子 委員 杉浦 早苗 委員
[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋
同 管理係長 新藤 博
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0名

次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 協議事項
 - (1) 令和4年度第3回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 - (2) 立川市第6次生涯学習推進計画 令和3年度取組状況の進捗評価について
 - (3) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について（幹事市）
4. その他
 - (1) 立川市中学生平和学習派遣事業について
 - (2) 令和3年度学習等供用施設利用者アンケート集計結果について

配付資料

1. 令和4年度第3回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
2. 立川市第6次生涯学習推進計画 令和3年度取組状況の進捗評価表（令和4年度実施）
3. 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会資料一式
4. 立川市中学生平和学習派遣事業について
5. 令和3年度学習等供用施設利用者アンケート集計結果

会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 協議事項

(1) 令和4年度第3回立川市生涯学習推進審議会 会議録(案)について

(会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 資料1です。事前に確認をお願いしておりますが、修正意見はございませんでした。この会議が終わるまでにご意見がなければご承認いただけたいということで速やかにホームページに公開させていただきます。

(会長) ありがとうございます。お気づきの点や修正点はございますか。(なし)

(2) 立川市第6次生涯学習推進計画 令和3年度取組状況の進捗評価について

(会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 【資料2】をご覧ください。前回の会議で評価部会を立ち上げて、檜崎副会長、A委員、B委員の3名に評価委員を務めていただくことになりました。この間、9月22日と10月7日に部会を開催しておりますが、前回の会議でご説明した内容から変更点がございますのでご報告させていただきます。前回の会議では、皆様からお出しいただいたご意見に基づいて、評価委員が総評の原案を作成することとしておりましたが、第1回目の部会で協議した結果、総評の原案は事務局が作成し、それを評価部会で確認していただくこととなりました。様々なご意見が出たのですが、今年度はこのやり方で実施してみても、皆さんからご意見をいただきながら来年度以降のやり方は検討していきたいと思っております。本日、お示ししているのが、事務局で総評の原案を作成し、第2回の部会で評価委員の方に修正意見等をいただいて反映したものとなっております。この場では修正等の議論は行いませんが、評価委員の方から作成時のポイント等の補足をしていただいて、10月21日までに修正意見等を事務局にご提出いただければと思います。この後の流れとしましては、21日までにご意見をお出しいただいて、それを基に27日に第3回の部会を開催して、総評の修正案を作成いたします。それを11月9日までに皆さんにご確認いただいて、評価委員で最終調整を行って完成となります。次回の会議で完成版のご提示となりますので、今年度のやり方がどうだったか、来年度以降の評価方法についてもご意見いただければと考えております。説明は以上です。2回ほど評価部会を開きましたので、それぞれ評価委員から内容や進め方について一言ずついただければと思います。檜崎副会長からお願いいたします。

(副会長) 去年や一昨年は会長と2人で行っていたのですが、今年は3人になったということです。原案は事務局に作っていただいたということで多少の軸変更があったことと、「これは入れてほしい」というところがけっこうありました。後から考えると合理的な方法だったかと思っております。

(事務局・管理係長) A委員をお願いします。

(A委員) 3分の2のところまでできていて、まだ3分の1ありますから何ともいえませんが、今年のやり方がいいと思っております。それぞれの立場の人がそれぞれの責任においてそれぞれの仕事をできています。第一に事前に委員の皆様が意見を出していただいています。これがすべて基になっています。それを統合する作業を事務局が行っています。ゼロから考えたのではなく皆さんの意見を基にして

いるということです。評価委員はよく吟味して、当日ジャッジして修正したものを本日ご提示しています。この形で最後までやれると思いますし、ぜひ来年もやってみてもらいたいと思います。今日見た案の修正意見をこれからいただくこととなります。それを第3回の評価部会の意見に取り入れるかというのは、やってみないとわからないという思いです。

(事務局・管理係長) B委員お願いします。

(B委員) 最初は自信がないという思いでしたが、ひとつひとつ丁寧に見ることができてよかったですと思います。資料が欲しかったので、まとめだけでなく中々手に入りづらい資料も送っていただきました。全16項目見させていただきましたが、皆さんが出していただいた意見があるからこそできる作業だと思います。意見が合致している部分とバラバラの部分とあったのですが、それが勉強になりました。今回のやり方については、皆さんの意見を事務局の方で網羅していただいて、皆さんも自分が書いたご意見が載っているなど感じると思います。ただし、意見がまとめづらい部分については、委員の方でも迷った部分になりますので、皆さんにも見ていただければと思います。このまま進めていくことができたなら、スムーズに合理的に、かつ、皆さんのご意見も反映できるのではないかと思います。初めてのことでしたが、皆様に助けをいただきながらあと1回頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

(事務局・管理係長) ありがとうございます。それでは会長にお戻しいたします。

(会長) ありがとうございます。評価委員のお三方には2回お集まりいただいた上に多くの作業をしていただいたかと思います。それ以外の委員の皆様にも事前に意見をお寄せいただいて、それが基になっているということでありありがとうございます。また、事務局も想定と異なる動きだったということですがそれでも作業していただいてありがとうございます。まだ終わっていないので、ここまでの中間の報告ということで主に進め方についてご意見をいただきました。この先はまとめていただいたご意見を委員さんに見ていただいて、確認やさらに足さないといけない部分であったりを出していただいて、それを再度評価委員の皆様へ整理していただいて、最終的にこの会議で提出するという流れになります。21日までといっても10日ほどになりますので、私の方で読み上げていきたいと思いますので、メモを取っておいていただいて21日までに事務局に寄せていただければと思います。『I-1-① 市民ニーズにこたえる事業の推進』からになります。(全項目読み上げ)

～中略～

この多くの意見や資料をまとめてくださったことに感謝申し上げたいと思いますが、ここが足りないとかここでは触れない方がいいとかそういった意見は出していただいた方がいいと思います。まとまり切らなかった論点のある項目については、評価委員にだけ任せるのではなく、全体で議論したと思いますので、最初に出した意見にとらわれずに見ていただいて21日までに事務局はご意見を出していただければと思います。この場で確認しておきたいこと等あればお願いします。

(事務局・管理係員) 評価部会でまとめるにあたって悩まれた部分があったと思いますので、評価委員の方から事前に情報提供して、この部分を特に見てほしいというような部分があれば、今日のうちに伝えておくとの委員さんも検討しやすいかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(会長) ありがとうございます。それでは評価委員の皆様、この項目はよく見てきてほしいという部分があればお願いします。

(副会長) 気になっている部分は『Ⅱ-1-③ 学習相談体制の充実』なのですが、「地域学習館で行う相談窓口は意義のあるもので、より専門的な相談体制が求められるため、人員体制を見直す必要があります」と書いてありますが、「見直す」のではなく、「充実」させる必要があるのではないかと思います。作ったときは気づかなかったのですが、行政にこうしてほしいというのは強く主張した方がいいかと思いません。

(会長) ありがとうございます。10 ページの部分です。

(B委員) 副会長から出た部分はけっこう難しかったところで、皆さんのご意見がバラバラでした。このページに関してはお出しいただいた意見とは違うまとめの仕方になっているかもしれません。窓口の意義を考えさせるような真逆のご意見もありましたので、この部分についてはよく見ていただければと思います。

(会長) ありがとうございます。『Ⅱ-1-③』ですね。A委員どこかございますか。

(A委員) 全体的に特にここというところはないのですが、私も強いて言うならこのページになります。お二人が言っていたとおり、皆さんがお出しいただいた意見とニュアンスが違うかもしれません。学習館でも相談できます、ここの1階生涯学習情報コーナーでは相談に特化したコーナーがあります、という前提があり、それが機能しているのかどうかという議論があります。相談機能が必要というのは皆さん同じ考えだと思います。実際に1階や学習館がそうなっているのか、学習館では経験豊富な方はいるのですが他の業務が多くあって相談を受けられないのか、それとも相談の数が少ないのか、学習館によって事情が少し違っていて認識が少し違って、どういうあり方が相談機能を果たしていると言えるのか改めて考え直した方がいいのではという話になります。今のを踏まえて「人員」という言葉について触れています。兼務なのか専任なのか、専門のコーナーが必要なのか、身近な学習館に必要なのか、根本から考えた方がいいのではというところまで考えてしまいました。評価の枠を超えてしまっているかもしれないのですが、そういった背景があることを参考情報としてお伝えさせていただきます。

(会長) 毎年少し話題になる部分ですが、進捗評価なので目的や取組に対してどのような事業が行われて、それに対して私たちがどういう評価をするかというのがもとの目的ではあるのですが、しかし私たちの目線からすると、取組の評価をしつつ、今後こうあってほしいということも総評のところに入れてきたという経緯もあるので、A委員がおっしゃるように評価のその先の部分を考えると、「そもそも」とか「これからこの方針でいいのか」とかについて、皆さんの意見を基に評価委員の方々で行っていただいたということかと思っております。必要があれば、次回会議で議論してもいいかと思うので、特に注視して見てきていただければと思います。

(C委員) 評価委員の皆様、昨年度までは3,4回議論して出しているのに、これでいいのかというわだかまりがあって、その部分をお三方に押し付けるような形になってしまって申し訳ありません。事務局の方でも未反映についても記載していただいで。

(事務局・管理係員) こちらの未反映は部会の後にご提出いただいたご意見でして、とりまとめの土俵に上がることができなかったという意味合いですので、ここの部分についても盛り込んだ方がいいとか注目して見ていただければと思います。

(C委員) そうなのですね。『Ⅱ-1-③』については、計画のもとの文章を見ながら提言したときのことを思い出しながら書いたのですが、あまり力を入れる必要がないというのもごもっともなご意見だと思います。今のお話を聞いてA委員のいうように根幹にかかわる話だと思いますので、今どうこうという意見はないのですが、21日まで考えてみたいと思います。

(会長) ありがとうございます。学習相談の仕方は自治体によっていろいろなやり方がありますね。今のやり方が立川に合っているのかというのは、評価というよりは次の計画に向けてどうあるべきなのかというのを考えるのも必要かもしれません。そのほか確認しておきたいことはあるでしょうか。(なし) いろいろと作業をしていただいている評価委員や事務局に敬意を表しつつ、さらによりよいものにしていくために遠慮なく意見をお寄せいただければと思います。

(3) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について(幹事市)

(会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 【資料3】としていくつかの資料を配布しています。まずは当日の委員の皆さんの動きについての資料が横版の工程表というものです。基本的には皆さん、13時までにお越してください。全員揃ったら第2部の情報共有・意見交換の部分でファシリテーターのような役割をお願いしているので、会長からアドバイスというかすり合わせをしていただくため「ミーティング」の時間を設けさせていただきました。それ以降は受付の方等、主な役割が入っていますが、ご担当を確認していただいて、受付の方には簡単なマニュアルを作りますので、それにしたがってお越しいただいた方のご案内をお願いします。それ以外の方は「準備」となっていますが、基本的には事務局で事前に終わらせておきたいと考えておりますので、会場内でお待ちいただければと思います。それ以降は開催要項に沿って進行しますので、皆さんも研修にご参加いただければと思います。会長と副会長はコーディネーターや司会などの全体の進行を、また、会長には冒頭ご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。D委員は事例紹介で発表をしていただいて意見交換の時間は各テーブルを回るとなりましたが、それは後ほど協議になりました。C委員はD委員のサポートをしていただけるといことなので、適宜ご協力いただければと思います。研修が終わりましたら他市の方をお見送りして解散となります。続いて、当日の図面となりますが、会場の101会議室への入退室はすべてテラス側の窓となります。正面玄関の入り口は

開いていますが、そこから 101 会議室には行くことができませんのでご注意ください。お手洗いは、正面玄関から入って多目的プラザの奥のトイレを自由に出入りすることができますが、東側、101 会議室を出て右手に近いトイレがありますので、そちらのお手洗いも使用できるようにしたいと考えています。そこに市の職員が立つか看板を立てたいと思います。続いて、101 会議室内の見取図です。正面玄関側のテラスの窓を入り口として開放しますので、そこで受付を済ませて、事前に振り分けるグループに分かれて座っていただく予定です。この机の配置ですが、まだ参加者が確定していない部分がありますので、暫定でつくったものとなります。人数次第で当日変更となっている可能性がありますので、ご承知おきください。その次のアンケートも最後にご提出いただく予定になっていますが、こちらの質問内容は違いがわかるように毎年同じ様式で行われています。今年度についてもこの様式でご記入いただこうと思っております。集計が終わった段階でこの審議会でも共有を図って次回に活かせるように記録に残していきたいと考えております。最後に情報共有・意見交換で使用する進行メモや記録用紙ですので、この後触れさせていただきます。事務局からは以上です。

(会 長) ありがとうございます。資料が多くなってしまいましたが、近づいてきましたので詳細が決まってきたところです。人数は確定ではないのですが現状では 30 名くらいでしょうか。

(事務局・管理係員) 残り 2 市の提出を残して現在 24 名の方が意見交換に参加できる予定です。

(会 長) 30 名くらいになりそうですね。委員の皆さんにはグループに入っていて、お一人かお二人か全体の人数によって違いますが、進行役をお願いしたいと思いますので、心の準備をしておいていただければと思います。D 委員にはご報告していただくことと、檜崎副会長には司会をしていただくこととなっています。

(副会長) 第 1 部ですが、14 時 10 分から 15 時 5 分となっていますが、それぞれの持ち時間は表で示されていませんか。

(事務局・管理係員) 表はご提示していませんが、小町さんのお話を 30 分程度という想定で話を進めてきていたかと思しますので、(2) が残り時間ということで 25 分、それを発表者 3 組で割り戻すと 7 分程度という想定です。

(副会長) わかりました。

(会 長) 時間が余れば質疑応答と思っておりますが、おそらく余らないと思います。資料の後半に出てきた、進行メモですが、事務局が原案を作って私が加筆をさせていただいたものです。各グループの進行役の皆さんは参加されている皆さんからテーマに沿って意見を出していただくことを役割としていますので、無理にまとめたり結論を出す必要はありません。いろいろな方が発言しやすいようにサポートをしていただくというのがやっていただきたいことになります。いきなり事例紹介するのは難しいかと思ったので、まずは自己紹介くらいはやっていただいた方がいいかと思っております。人数によってはすぐに終わってしまうと思いますので、そのあたりはグループの様子に合わせて時間配分は考えていただければと思います。記録係は各市の職員さんにお願いますので、気持ちよく進められるようにここ

に記載させていただきました。メインは各市ならではの特色ある事業ということで、第2部では各市の皆さんからご紹介いただくということになります。通知文の中で簡単な資料やチラシがあれば事前に送っていただくかご持参くださいとなっているので、持ってくる方もいらっしゃるかと思います。お持ちの方がいらっしゃったら、ぜひその方にお話していただくようお願いいたします。まだ委員になられたばかりでよくわからないという方がいらっしゃれば、前半の報告の感想を聞いたり、他の市の方が報告したものの感想でもいいので振っていただく話しやすくなるかと思います。時間に余裕があれば、テーマに沿った話し合いということですが、お互いの事例を紹介し合った上で、わがまちならではの学びを支える仕組みや工夫を事例を超えて意見交換していただけるといいかと思います。そのときに地域ならではの資源を活用するかということや、さまざまな組織や団体と連携・協働するという点では特色ある事業が生まれるのではないかとこの観点に立って研修テーマを組みましたので、そのあたりも振ってみるのもいいかと思います。事例発表者や司会とかコーディネーターは巡回した方がいいのかグループに入っちゃった方がいいのか悩み始めていて、45分というタイトな時間設定ということと、うろうろする人が多いと集中して話ができないとか質問しなくなっちゃうということがあるので、どこかのグループに入っていていただいて落ち着いて話ができる方がいいのかなと思いはじめてきています。後ほどご意見いただければと思います。記録用紙は前回の会議であった方がメモしやすいのではないかとこのことでしたので、事務局が作ったものを私が直しました。各グループの職員さんにどんな事例が出たかの簡単なメモと後半の部分で仕組みや工夫が出てきたら、ここにキーワードをメモしていただこうと思って作ったものになります。それでは第2ブロック研修会について何かご意見やご質問ございますか。

(D委員) 誰がどこに入るか決めた方がいいのではないのでしょうか。

(会 長) まだ参加者が確定していないので、当日になりますかね。

(事務局・管理係員) 作り次第、事前にメールで共有を図りたいと思いますので、そこでご確認いただければと思います。

(会 長) 直前になってしまうかもしれませんが、事前に送っていただけるということですね。

(C委員) D委員のアシストということで、当日のオペレーションは現場合わせということでしょうか。データの管理やプレゼン用のPCは用意されたりするのでしょうか。

(事務局・管理係員) こちらでPCとプロジェクターと印刷した資料とご用意する予定です。今のところ、事例のデータを事務局にいただいて、一つのパワーポイントにして当日USBで用意する予定となっています。

(C委員) 成果物としてパワーポイントをお送りすればよろしいということでしょうか。

(事務局・管理係員) はい、送っていただくと助かります。

(会 長) できればC委員に、後半の部分は3つの事例を4人で7分ずつ報告するという厳しい時間配分になっているのですが、資料をいちいち出したりすると時間がかかってしまうので、その統合作業も含めてC委員にお願いできないかと思いまし

て。

(C委員) ちなみにオペレーションはどなたが行うのでしょうか。

(会 長) それもご協力いただけるのであればお願いしたいです。統合、整理、当日の運用がしやすいようにまとめるという感じです。

(C委員) 自分でオペレートしたいという方はいらっしゃいますかね。一応リモコン持っていきますが。

(会 長) 合図を決めてしまえば大丈夫でしょうか。

(C委員) ルールを決めてしまうか、リモコンの持たせるかのどちらかかと思います。

(会 長) D委員も発表原稿は用意していただけるということで時間はだいぶ気にかけていただいています。

(C委員) わかりました。それなりの準備をしておきます。

(会 長) そのほかいかがでしょうか。一グループ5,6人になりそうなので、落ち着いて話ができるレベルかと思います。名札はご用意いただけますか。

(事務局・管理係員) 想定はしていませんでしたが、ご要望があればご用意いたします。

(会 長) なくてもいいですけど、名前が見えた方がいいですよ。

(事務局・管理係員) 所属市とお名前でもよろしいでしょうか。

(C委員) 行政の方か社会教育委員の方かわかりますか。

(事務局・管理係員) それでは後ろに「事務局」と記載しますか。

(会 長) グループ分けの名簿に記載されるのではないのでしょうか。

(事務局・管理係員) そうですね。それでも把握できますね。

(E委員) まとめの部分はどなたが行うのでしょうか。

(会 長) 私が行うことになっています。グループには発表してくださいと事前をお願いしないつもりで、どこか議論の内容についてご紹介いただけますかという形で振ろうかと思っています。発表も込みで45分だと準備するのは厳しいかと思っています。どのような話をしたかお互い知りたいということだと思っているので振ります。皆さんが発表してもいいですし、まとめてくれそうな他市の委員さんでもいいですので、発表していただけるといいかと思っています。

(E委員) 発表者は決めておく必要はないということですね。

(会 長) そうですね。全グループに発表していただく時間もないと思いますので。

(C委員) 先ほどのパワーポイントのまとめなのですが、事務局としてはどのくらいの締切を想定されているのでしょうか。

(事務局・管理係員) 21日の金曜日までにご提出いただくと助かります。

(会 長) 21日までに各報告者が事務局に送ることになっているので、それからC委員と私に送っていただけることになっているので、それをひとつにまとめていただいて、それを事務局に戻していただきたいです。データが重いから難しいでしょうか。

(事務局・管理係員) 受信であれば問題ないかと思います。市役所のメールは送信するのが重いと送れないのですが受け取るだけならおそらく大丈夫だと思います。

(C委員) 送受信の上限はどのくらいなのか。

(事務局・管理係員) 送信が5MBです。受信は特段なかったと思うのですが、細かくは把

握していません。

(C委員) わかりました。

(会 長) パワーポイントは写真も入ったりしているのですが、手持ち資料も事務局が印刷してくれる予定です。コロナ禍ではありますが、久々の交流ありの研修となりますので、他市の委員さんに話しかけていただいて、なごやかな雰囲気での意見交換ができるようにご協力いただければと思います。それではそのほかによろしいでしょうか。(なし) それでは 29 日市役所でお待ちしておりますのでよろしくお願い致します。

4. その他

(1) 立川市中学生平和学習派遣事業について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・センター長) 今回は市議会で報告させていただいた内容についても情報共有させていただければと思います。立川市中学生平和学習派遣事業についてですが、生涯学習の一環として、9校の代表生徒を原爆地である広島に派遣しまして、原爆ドームや平和関連施設を見学しました。被爆者の方から講和をいただきまして、生徒たちが平和について感じたことを報告するという形で在校生や市民の方に発信する取り組みをしています。平成30年から取り組んでおりまして、平成30、31年度は実施をしたのですが、令和2、3年度はコロナのため中止しています。3年ぶりの開催をさせていただきました。実施日時でございますが、7月18日に柴崎学習館で事業の説明も含めて事前学習会を行いました。実際には8月16日、17日と一泊二日で広島まで行ってきました。事後学習会ということで10月1日に報告のための資料作成を行いました。報告会は令和5年2月に教育フォーラムというのをやっています。その中で中学生に報告していただく場を設けるという流れになっています。活動の概要は1日目に原爆ドームを見て、平和祈念資料館を見学して、体験講和を聴講しています。2日目は袋町小学校という一部残存しているところがありまして、資料館として展開しています。それを見学させていただいたものです。参加者の募集方法は各中学校でチラシを配布して、応募者に作文を書いていただいて、その作文の採点の結果で各校1名、計9名が参加しています。コロナ禍で5、6月だったので、3年生は受験で行きづらかったり、2年生は部活動が盛んで、全体で20名の応募しかなく今年は少なかったです。例年は30名近くの応募があります。同行者は教育長をはじめ、指導部門で指導課長、指導課主任指導主事、私と平和人権学習担当の柴崎学習館の係長が参加をいたしました。活動の様子は裏面の写真ですけれども、原爆ドーム前で実際に原爆が投下された位置までご案内していただいて、さまざまなお話をさせていただきました。平和祈念資料館の後に写真の脇柵さんのお話がありました。この方は2歳で被爆をされた方で、当時のことはあまりいい記憶はないということでしたが、その後は体が弱かったそうですが、原爆の体験を通じて世の中の役に立ちたいという話をされていて、中学生も真剣に聞いていました。この方、看護師になりたいということで58年間看護師をされたそうです。その後、英語の勉強をしてアメリカに行

ったりホームステイを受け入れたりという話をされていました。アメリカのことを憎んではいけないという話もされていて、国民の多くは申し訳ないという気持ちでいると語っていました。当日は朝早く集合して、昼過ぎに広島について、翌日の昼過ぎには帰ってくるというスケジュールだったのですが、感想を聞いてみると「戦争は二度としてはいけない」とか「私も英語を学んで世の中に役に立ちたい」といったものがありました。この様子を「たち」に載せて全戸配布したいと思っているところでございます。

(2) 令和3年度学習等供用施設利用者アンケート集計結果について

(会長) 引き続きセンター長よりお願いします。

(事務局・センター長) こちらにつきましては、令和3年度中に利用者アンケートを行っております。回収数には差異がございしますが、全体で7,000部配布しまして、約2,300部の回答をいただいております。回収率は約33%です。利用者の年齢層は70代が最も多くて全体の7割を60代以上が占めているという状況です。男女比では女性が6割です。学習等供用施設は11館ございしますが、地域で活用していただくことを目的としておりますので、市外在住の利用者は2割に満たないような状況です。主な利用はサークル活動文科系や運動系を含めて7割でございします。そのほか会議や研修に使われております。会館利用に関する4項目、「設備・備品」、「会館だより」、「管理人」、「予約方法」については、全体的に「分からない」や「無回答・無効」と答えた方が多い状況ではございしますが、満足していないと回答した方は少数でございします。施設予約システムを利用した予約方法に変更することに関しては、年代によって変更に対する回答が異なっていることがわかりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大状況における団体の活動状況について設問を新たに設けまして、活動はできなかったものの団体間で密に連絡は取り合っていた団体も一定数いることがわかりました。最後に「設備備品、管理人対応、会館だより、予約方法、コロナ禍での行事再開、利用促進、その他の意見」に関する主な意見をまとめたものになります。前回3年前にアンケートをとって、今回2回目となります。3年に1回の頻度でこの規模のアンケートを実施していきたいと思っております。おおむねの傾向は以上となります。

(会長) ありがとうございます。2つの報告についてご意見や質問はございしますか。

(C委員) 自治連でこびら橋会館や天王橋会館の利用が多くあって、こちらの結果に出てきていないのですが、Wi-Fiの要望が強くあります。これについては何か把握はされていますか。

(事務局・センター長) Wi-Fiについてどのくらい要望があるか、自由意見を確認したところ、全部で6件でした。全体の中では少ないと思っておりますが、市としては必要性については感じております。来年度に試行的に何か取り組めないか模索しているところです。

(C委員) 自治連の栄町支部では幸学習館に移動して実施しているくらいなので、ぜひさかえ会館でできるようにしていただきたいです。

(事務局・センター長) 防災の観点から設置するのか、利用者の観点で設置するのかなど

のこともありますので、どこの会館に設置するかについても検討中になります。

(D委員) 広島派遣の報告で3年生は受験で2年生は部活でという話がありましたが、結局何年生が行ったのですか。

(事務局・センター長) 失礼しました。3年生が2人と2年生が7人です。部活で忙しいと言いましたが、休まれて参加した子もいますが、お盆の時期で活動していなかったという子もいました。

(会 長) ありがとうございます。他にはいらっしゃいますか。

(A委員) 学供施設のスライドの11ページのインターネット予約について聞いているところなのですが、無回答が半数以上いらっしゃるのですね。これをどう読み解くかということだと思いますが、そもそも質問の趣旨がよくわからないという方が多いということなのではないでしょうか。

(会 長) 3ページのスライドで回答者層がだいぶ上の方たちが多いので、関係ないという回答のしようがないと思っているのかもしれませんが。

(A委員) 「変更してほしい」と「変更してほしくない」の回答が拮抗していて、倉持会長の意見と同意見なのですが、そう考えると「変更してほしくない」の方に振れるのかと思うのですが、事務局としてはいかがでしょうか。

(事務局・センター長) 圧倒的に年代の高い方たちからの「変更してほしくない」が多くて、若い世代は「変更してほしい」となっています。システムを導入した場合は、会館の管理運営委員会にご協力いただかないといけないので、今すぐは難しいかと思っております。また、この回答だけで判断することは難しいのですが、若い世代の利用というのも課題にありますので、慎重に判断していくところかと思えます。

(副会長) この結果を見ると学習館と学供施設を使う目的も層も違うということがよくわかりますね。学習館を使う側からすると学供施設も同様のシステムを入れたらどうかと思うのですが、違う形で機能しているように読み取れるので、あまり急がなくてもいいのかなと思います。

(C委員) 利用者個人に質問していることなので、無回答がここまで多いのはそもそも予約をしたことがない方が大多数ということなのかなと思います。予約方法については、利用者懇談会で投げかけるべき質問ではないかと思えます。

(会 長) 予約の当事者ではないから答えられないということですね。

(副会長) 利用している方の多くが近所の方だからということもあるわけですね。

(事務局・センター長) 月初めの予約で行列になってしまうこともあるので、いいのかという問題もあるのですが、地域の方がそれを望んでいるのであれば、その意見も大切にしないといけないと思っています。

(F委員) 時々、月初めに申込に行くことがあるのですが、長蛇の列になっていることがあって、始まる頃には半分以上決まっていて、日程が重なると調整するのに時間をかけているので大変だなと思います。でも、見ていると年配の方が多くて、そこで交流している方も多くいて、それぞれでいいのかなと思います。毎回行っている人はどう感じているのだろうと思うことはあります。ただ、「ここに来るのがいいのよね」という人も多いので、どちらがいいのかわかりません。

(D委員) 学習館では抽選がありますよね。年配の方でそれができないと、「また空いていない」となってしまって、その段階であきらめるといふ方もいると思います。

(C委員) 高松青少健にいたときに高松会館の予約方法について、外に並ぶことが多くて、寒い時期はとてつらいという意見があつて、並んで順番に受け付けていくということは先着順で変わりはないので、予約希望票みたいなものを書いて来てもらつて投函するだけにすれば順番はわかるので、行列をなくす工夫みたいなことはされた方がいいと思います。

(会 長) 本日お答えいただく必要はないので、評価に関する部分にも記載があつたと思います。「公平で柔軟な施設利用の推進や学習施設の連携促進」に関わるところでですね。錦学習館が改修中なのですが、会議室の予約が再開して定例的に活動されていた方が予約を取れなくなっているみたいです。きれいになるから人気があつたような話をしていたのですが、地域の学習施設であるというメリットと多くの人利用できる利便性のようなどころと、どうしたら両立できるのかというのは難しい問題ですね。学習館と学供施設と違っているからいいというご意見もあるだろうし、統一していた方が使いやすいというものもあると思うので、課題等を整理する必要はあるかもしれないですね。ぜひ、センター長の方で聞き取りをしていただくとして、そのためのいい情報提供がありました。ありがとうございます。そのほかにありますか。

(C委員) 中学生の主張大会の個人審査員として、120編読ませていただきました。先ほどの平和学習事業に参加された方の作文もありましてタイムリーなお話も多くありました。5,6年前に審査員をやらせていただいたときは、平和や戦争反対というテーマが多かったのですが、今はジェンダーフリーとかで、男の子なのに吹奏楽なのかということと言われて傷ついたりとか、個の視点のテーマが多くて時代が変わつたのだと感じました。個々の視点が広がって大人の視点にはないようなものがあつて勉強になりました。

(会 長) ありがとうございます。

(F委員) 12月のことなのでチラシはできていないのですが、12月4日の日曜日に10時から11時半まで防災講座をやります。12月10日の日にかわせみカフェを、昨年は13時から15時までだったのですが、今年は10時からできそうです。夏に平和のパネル展をやつたかと思いますが、柴崎学習館から借りて平和について考えながら実施するのと昔遊びや工作も考えていますので、お越しいただければと思います。次回チラシもお配りできるかと思いますが。

(会 長) もし間に合うようならブロック研修会の時に配布できるといいですね。

(F委員) その時までには用意していただくように話をしています。

(A委員) 12月10日って何かと重なっていませんか。

(事務局・管理係員) 都市社連協の交流大会と重なっていたかもしれませんが。

(会 長) 昭島なら近いので午前中幸学習館に行つても午後間に合うかもしれませんが。ご指摘ありがとうございます。

(D委員) たちかわ市民講師フェアが来週から1週間あります。ワークショップとかホールでのコンサートもありますので、お越しいただければと思います。

(会 長) 他にはいかがでしょうか。

(G委員) 以前ご紹介いただいた武蔵野地域五大学共同講演会に参加して、東大の牧野先生の話をお伺いしてきました。『みんながつくる<社会>へー人生 100 年時代の「学び」』についてということで大変勉強になりました。

(会 長) ご報告いただきありがとうございます。資料等あれば事務局にご提供いただければ皆様に共有することもできますので、積極的にご報告いただければと思います。次回は 11 月 30 日ですが、多くの皆様が 10 月 29 日のブロック研修会でお会いすることになると思いますのでよろしくお願いいたします。それでは、第 4 回生涯学習推進審議会を終わりたいと思います。ありがとうございました。